



2期制を導入し、夏休みも2週間ほどに短縮して、年間250日の授業日数を確保。その結果、学力の向上と定着に効果的な反復学習や分割授業など、きめ細かな指導形態が可能に。「ゆとりをもって勉強できるので、理解が深まる」と生徒にも好評。



土曜日には、その週に習った要点に関して、オリジナルテキストを使って復習やテストを実施。定期考査前には集中講座で反復する2段階構成。授業中も含め、3回も繰り返す反復学習で、内容を完全にマスター。



英数国は中1から10人前後の習熟度別分割授業を導入。進度の違いには個別にプリントを作成し、休み時間や放課後にチェックする個別指導方式を採用。成績上位の生徒にはさらに力を伸ばすため、希望制で8限目授業も展開。



幼児教育に特化する同学園では、併設大学の充実した施設を利用し、総合的な学習で中学生全員にピアノの個人指導を実施。それぞれのペースで練習できるので、上達も早い。学力だけでなく情操教育にも力を注ぎ、バランスのとれた生徒を育成。

## 反復学習、少人数分割授業、個別指導 3つの指導形態で 一人ひとりの学力を伸ばす



職員室の前に並べられた英語の提出物入れ。先生方が随時、添削して生徒に返している。

# 私学の魅力!

## 城南学園の新教育プログラム

### 2期制導入で250日授業 学力偏差値アップ

2004年から特進一貫コースを設け、新たな教育プログラムを実施し、めざましい成果をあげている同校。その特徴を中学教頭の泉岡礼一郎先生は「2期制を導入して授業日数を十分に確保し、反復学習・少人数分割授業・個別指導など、さまざまな指導形態で、一人ひとりの学力向上を徹底してサポートするシステムです」と、自信をもって説明される。



中学教頭・泉岡礼一郎先生

具体的な成果を「クラスの平均偏差値が1年間で約10ポイントも上がりました」とうれしそうな中学校主任の池辺勇夫先生。とくに日々の授業、毎週土曜、定期考査前と、3回の反復授業で、遅れる生徒を出さないのも大きな効果と指摘されます。担当されている国語の習熟度別授業では、10人が円座になって活発に質疑応答が行われていました。「少人数になり、生徒の授業への積極性が増し、我々教師も各人の進捗度や学習姿勢、問題点が手に取るようになります」と好評です。6年間を見越した効率の良い先

### 人間教育を基礎に さらに質の高い進学をめざす

幼稚園から大学までを擁する総合学園として発展し、創立70周年を迎えた同学園では、今春、大阪総合保育大学を開学。幼稚園と小学校教諭の資格が両方取得できるとあり、倍率10倍以上と予想を上回る人気を博しました。



中学校主任・池辺勇夫先生

特進コースからは同大学への特別推薦制度があり、従来の併設短大への内部進学、さらに国立公立大学・難関私立大学進学と、以前から掲げて

いた「一人ひとりの夢を大切に、100%の進路保障」を、さらに質の高いものにする学力をつけることが、今回の新教育プログラムの目標です。同時に池辺先生は「がんばれば結果がついてくることを、身をもって生徒に学ばせたい」と願っておられます。泉岡教頭先生は、全生徒と面談を行い、担任の先生方とは違った視点で、生徒を見守られています。「人間教育を基本に、『自律・清和気品』をモットーとする本校の生徒たちは、もともと明るく素直で、服装や言葉遣いも良いと評判がありました。今回の取り組みで、さらに全員にやる気が出て、勉強や行事すべてにこれまでに以上に積極性が見られるようになりました。学園の明日に期待してください」と締めくくられました。

### 記者の目

新制度導入以来、生徒と先生方のつながりがさらに深くなり、年2回のキャンプ、登山など数ある学校行事も、これまで以上に盛り上がっているそう。授業中や校内で出会った生徒の様子からも、節度を保ちながらも親密な関係がうかがえました。